



KANAMORI
Alloy

since 1714

KANAMORI

会社名 株式会社金森合金
事業内容 アルミ・銅合金製品の鋳造と製作
創業 正徳4年（1714年）
代表 代表取締役 23代目 金森和治
所在地 〒920-0348 石川県金沢市松村6丁目100番地
TEL 076-267-3003
MAIL info@kanamori1714.jp
HP <https://www.kanamori1714.jp>
担当者 24代目 高下裕子

History

1611年 加賀藩主前田利長が越中国射水郡高岡金屋町にて、
金森弥右衛門を含む御鋳物師7人衆を招き鋳物の生産を開始。
1714年 金森八郎右衛門が屋号「釜八」とし、鋳物商を創業
1911年 石川県金沢市に移住し、産業用機械部品の生産を開始
2019年 金属素材そのものが持つ機能性を活かし、生活のシーンを美しく彩るライフスタイルブランド「KAMAHACHI」スタート



Our Circulation Manufacturing

江戸時代から引き継がれる循環型ものづくり

300年の歴史を誇る金森合金は、創業以来自社内精錬技術による

「循環型ものづくり」を継承してきました。

ロケット部品素材の供給を実現させた高精度な精錬技術を強みに、純素材や廃盤となった製品、削り粉などを配合・溶解し、日本産業規格に適合した素材に循環させています。

「アルミ合金」の場合、新聞印刷時に使用されるアルミ版を800° Cの高温で溶解、不純物を除去し高純度アルミニウムを生成することで、製品へと生まれ変わります。

金森合金はこれからも循環型社会の構築に寄与する製品・サービスを提供するとともに、次世代に向けた環境保全と循環型ものづくりの継承を目指します。



・新聞印刷用の刷版



・インゴット（純素材）



・廃盤となった製品



・削り粉

Industry



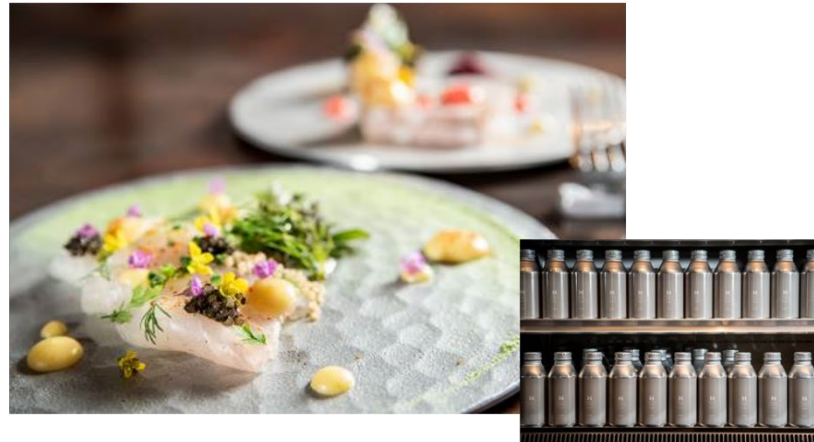
Summary

製品領域-1

いしかわエコデザイン賞2023
応募作品

株式会社 金森合金（金沢市）

300年継承する素材循環型ものづくりから生まれる、
100年活用するモダンなホテルテーブルウェア



- ホテル（ハイアット セントリック 金沢）で廃棄されるアルミ缶から高純度アルミニウムを生成し、同ホテルのダイニングレストランで使用する美しくモダンなテーブルウェアを製造。
- アルミ缶を精錬し、直接製品を製造することで、アルミニウムの原料であるボーキサイトから製造するより97%エネルギー削減。

Ethical Microcycle

ハイアットセントリック金沢のアルミ缶

■ハイアット セントリック 金沢の課題を解決するリサイクル技術

ハイアットホテルではプラスチックの使用量を減らすために開業当初から客室の飲料をアルミ缶で提供している。お客様は館内のウォーターサーバーで水を補給し、使用する。しかし、年間約10万本のアルミ缶が使用後には廃棄となり、金属ゴミとなっていた。

この廃棄されるアルミ缶を約800℃の高温で溶解、不純物を除去し高純度アルミニウムを生成。ホテルのダイニングレストランで使用する美しくモダンなテーブルウェアへと還元した。

■美しくモダンなテーブルウェアとオールダイニングでの活用

アルミ缶をリサイクルし、ホテルのオールダイニングで活用するプレート皿、カトラリーレスト、エッグスタンドを製造。伝統的な砂型铸造のもののづくりを生かした、高級感のある質感でホテル什器としてマッチするようなデザイン。

お客様はハイアットホテルのダイニングレストランで、世界を巡ったシェフがクリエイティブな一品に仕上げた料理と共に、生まれ変わったテーブルウェアを楽しむことができる。



arts and crafts - Aluminum

Sweets plate ～日本の食の繊細さを うつわで仕上げる～

「ひんやり」をキープしてくれるアルミ鋳物のスイーツプレート。アルミ合金は熱伝導性が良く、冷蔵庫で冷やして使うと効果的。デザートやアペタイザーのおいしい温度をキープしてくれます。割れない、壊れない耐久性のある素材です。

